



## 笑い、涙そして大きな感動に皆がつつまれた 「6年生ありがとう集会」

日頃からスキルタイム、そして秋の西部っ子暗唱大会で鍛えている西部っ子。どの学年もクオリティが高く、洗練された出し物を披露してくれました。6年生に感謝の気持ちを伝えたい、その思いはしかと6年生に伝わったようです！

- ★1年生は、6年生に学校のことを舌鋒鋭く逆質問。たじたじの6年生でした。そして大好きな6年生に、思いを込めての年下の男の子ならぬ「年上の6年生」のダンス♪度胸抜群の子ども達です！
- ★2年生は、虹の歌を手話付きで披露。しっとりとした雰囲気、6年生も静かに聞き入っていました。感謝の気持ちを言葉にこめ、大きな声で一人ひとりが思いを伝えました。虹ワッペンが素敵でした！
- ★3年生は、グループごとに遠足や掃除など、お世話になった場面を再現してくれました。練習の時からとても嬉しそうに、何度も繰り返し演技をする姿からは6年生への思いがあふれていました。
- ★4年生は、グループごとに自分達で考えた寸劇、そしてダンスを披露。ステージ上で堂々とするキレのある発声に圧倒されました。劇中に6年生の「絶句二首其の二」が入るのは西部小ならではの。憧れの6年生に、もう4年生は向かっています！
- ★5年生は、代表委員会での話し合いからたくさんの役割を担いました。会の運営も準備の中心は5年生でした。それと並行しての出し物や〇×クイズの準備など、縦横無尽の活躍。最後の後片付けまでその機敏な動きは6年生に追いつこうとする姿そのものでした。
- ★6年生は、これまでのスキルタイムで数々の暗唱を経験し、鍛えられてきたこそこの群読「西部っ子」だったと思います。その長さや声量に心をわしづかみにされました。下級生から憧れられる6年生。常にリーダーとして、下級生を導いてきた6年生。また、大きな目標を示してくれました。

「西部小の子どもたちは6年生を愛している。〇か×か？」の質問にみんなでつくった大きな〇。それこそが今の西部小の姿だと思います。

最後にサプライズで職員から歌のプレゼント「カイト」。6-1担任の浜辺先生によるソロから始まり、ピアノ寺崎先生、バイオリン古賀先生、トランペット末次先生の伴奏に合わせ、歌で祝福しました。目の端に泣いている6年生の顔が見え、最後は涙があふれて、あふれて、、、抑えることができませんでした。



初仕事、運営・集会委員の進行は大成功



大好きな6年生に心こめて「年上の6年生」



圧巻の群読「西部っ子」を披露する6年生



ミュージカルスター！皆の視線をくぎ付け

純烈？とつぶやく職員・・・(笑)